



減らそう犯罪通信

平成 28 年 12 月号

発行・編集

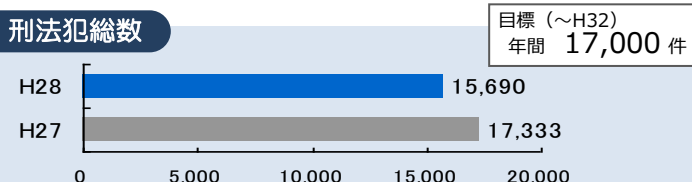
広島県警察本部
生活安全総務課
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

統計

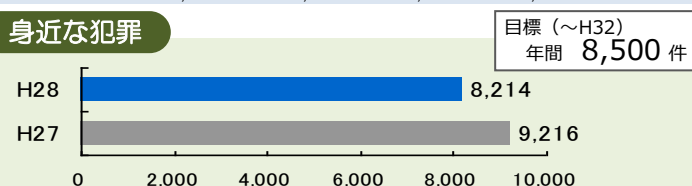
広島県内の犯罪の発生状況

平成 28 年 11 月末現在

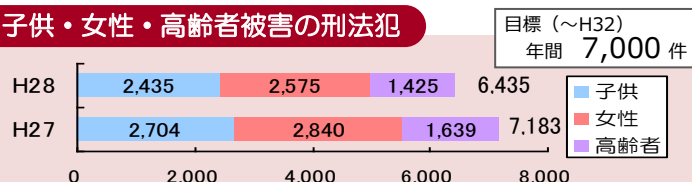
刑法犯総数



身近な犯罪



子供・女性・高齢者被害の刑法犯



特殊詐欺の被害状況

区 分	認知件数		被害額	
		前年同期比		前年同期比
特殊詐欺	286	-52	約9億5,202万円	約3億6,959万円

※ 特殊詐欺～振り込み詐欺や金融商品等取引名目詐欺など、被害者に電話を架けるなどして現金をだまし取る犯罪の総称です。被害額は、1万円未満は切り捨ての数値となります。

ちょっと教えて!!

犯罪情報官



年末年始の防犯対策について

今年も残りわずかとなりました。
年末年始は、里帰りや旅行など長期に留守をする機会が増えます。
泥棒は、明らかに留守と分かる家をまず狙うことから、空き巣の被害に遭わないために、次のことを心がけてください。

- 外出するときは、玄関はもちろん、お風呂やトイレの窓なども確実に施錠する。
- 留守の間の新聞や郵便物がたまらないように業者に止めてもらうか近所に依頼する。
- カーテンや雨戸は開けたままにし、一階の豆電球をつけておく。

泥棒が一番嫌うのは、近所の人にジロジロ見られたり声をかけられることです。

お出かけ前には、ご近所に挨拶をして出発しましょう。

みなさん、すこやかに新年をお迎えください。



減らそう犯罪トピックス

年末街頭キャンペーンを実施

12月2日に、広島市中区の本通り商店街で、「減らそう犯罪」年末街頭キャンペーンを行いました。

出発式では、湯崎広島県知事から「皆さんの力で安全に新年を迎えましょう」とのあいさつの後、名和県警本部長が「キャンペーンを通じて、防犯・交通事故防止への気運を高めましょう」と呼び掛けました。

パレードでは、県警音楽隊の演奏に合わせて、広島中央警察署管内で活動する防犯ボランティアや警察庁指定学生ボランティア「スリーアローズ」など約100人が本通りをパレードしました。



年末総ぐるみ「3 アプローチ作戦」決起大会を開催

呉警察署では、12月3日に「減らそう犯罪」・「交通安全」・「暴力追放」をめざす「3 アプローチ作戦」決起大会を開催しました。

大会後は、明德幼稚園園児と和庄中学校吹奏楽部を先頭に、参加者がパレードを行いました。



「特殊詐欺にだまされない地区」を宣言

安佐南警察署では、11月14日に「下城ハイツ町内会」を「特殊詐欺にだまされないモデル地区」に指定し、町内会長による「だまされない宣言」が行われました。

「特殊詐欺撲滅宣言の家」のステッカーを各家庭の玄関に貼り、地域ぐるみで特殊詐欺被害防止に取り組んでいます。



がんばれ！ 防犯 まちのボランティア



中野地区防犯組合（安芸区）

中野地区防犯組合は、青色防犯パトロール車による警戒活動をはじめ、登下校時の声かけや子どもの見守り活動など「日本一安全・安心な中野地区」を合言葉に、地域に密着した活動を地道に行っています。

安芸区民大会や区民まつりなど住民が集うイベントには積極的に参加し、防犯ブースを開設するなど、地域住民に防犯の必要性を呼びかけ、効果的な自主防犯意識の啓発を行っています。



山県警察署管内少年補導協助力員 連絡協議会（山県郡）

山県警察署管内少年補導協助力員連絡協議会は、平成16年の町村合併により管轄区域が山県郡内全域に拡大されました。

主な活動として、子供たちが毎日安心して通学するための見守り活動をはじめ、地域の祭会場において薬物乱用防止キャンペーンを実施するなど、地域の子供たちの非行防止及び健全育成に尽力しています。



第15回 広島県「減らそう犯罪」推進会議開催

11月14日、県警察本部において、第15回広島県「減らそう犯罪」推進会議が開催され、県民、事業者、防犯ボランティア、行政機関の代表など委員30人が出席し、本運動の第4期行動計画である「『めざそう！安全・安心・日本一』ひろしまアクション・プラン」に基づく、平成29年の取組方向が全会一致で承認されたほか、今後の運動の推進に係る活発な意見交換が行われました。



小川委員（福岡大学法科大学院教授）

この14年間、犯罪の減少傾向が続いているのは特筆すべきことで、アンケート調査における体感治安の数値を見ても、総論としてこの運動が成功している大きな証しであろうと思う。

遠藤委員（安田女子大学学生）

学生ボランティア団体「スリーアローズ」のメンバーとして、特殊詐欺被害防止の寸劇や、小学生と地域安全マップを作るなどの活動をしている。今後は、被災地でボランティアを装った詐欺の被害を防ぐマニュアルを作成したい。

徳田委員（広島消費者協会）

大学生が寸劇等の活動をされているとお聞きして力強く感じた。当協会も特殊詐欺被害防止を分かりやすく啓発していくことが大事と考え、寸劇による活動を試みており、YouTubeなどメディアも取り入れていきたい。

川口委員（広島県老人クラブ連合）

認知症高齢者への取組が重要であり、軽度・中度の認知症高齢者には、特殊詐欺等の被害防止に向けた取組を、中度・重度の認知症高齢者には、徘徊・非行の防止に向けた取組が必要で、施策の一層の充実を考えている。

池田副会長（広島県防犯連合会）

防犯ボランティアについては、5年前に比べ人数が減少しており、今後、活動が一層活発化されるように行政と共に連携を取りながら取り組んでまいりたい。

名和副会長（警察本部）

14年間で刑法犯認知件数がほぼ3分の1まで下がっており、取組の成果と実感しているが、高齢化の問題や地域のコミュニティの力の弱体化といったことが、今後の犯罪抑止にマイナスとなる可能性の懸念がある。

県警ホームページで、開催概要、配付資料、発言要録を公開しています。

減らそう犯罪推進会議

検索

平成28年～平成32年
**「めざそう！
安全・安心・日本一」**
ひろしまアクション・プラン

運動目標

県民だれもが穏やかで幸せな暮らしを実感できる

日本一安全・安心な広島県の実現

重点項目

- 身近な犯罪被害の抑止
- 子供・女性・高齢者等の安全確保
- 新たな犯罪脅威への対応



県警犯罪発生マップ

あなたのまちの犯罪発生状況がマップで分かる！



今すぐアクセス！県警ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police>